

技術・家庭科

【研究主題】

多様な関わりから、社会を見つめ、よりよい生活をつくり出す生徒の育成

【研究副主題】

社会や生活と自分のつながりを「見える化」する学習の展開

公開授業

学級：3年2組 授業者：谷本 優太



共に生きる社会を目指して～追究！幼児とのよりよい関わり方

本校技術・家庭科では、技術分野と家庭分野の学びを統合した課題解決を仕組み、それぞれの分野の学習内容を関連づけた、生活や社会の問題を解決する題材を開発しています。

県内の技術分野担当者を対象にした調査では、統合的な問題の解決に関して、技術科教師が、「問題発見」や「課題設定」の場面での指導法に難しさを感じていることが明らかになりました。情報の技術と各内容をどのように統合すればよいか、頭を悩ませている先生方も多いのではないのでしょうか。

そこで、**おもちゃづくりを題材とした統合的な問題の解決**を御提案いたします。

「情報の技術」を要として、「材料と加工の技術」と「エネルギー変換の技術」を用いた統合的な問題の解決に取り組む過程で、おもちゃを製作（制作）する題材を開発しました。6月の幼稚園実習（家庭分野）で、園児と交流する中でとらえた園児の実態を踏まえ、遊びと発達の関係を意識した課題を設定し、解決策の構想を経て、製作（制作）する活動に取り組ませます。

当日は、**製作（制作）したおもちゃの改善策を考える場面**の授業を公開いたします。園児が、完成したおもちゃで遊ぶ様子から発見した問題点や幼稚園の先生からの助言を基に、新たな課題を設定して、解決策を構想する過程を御覧いただき、統合的な問題の解決に向けた学習の糸口をつかんでいただけると幸いです。

メタ認知との関わり

おもちゃ製作（制作）の課題設定と解決策の構想を図るために、メタ認知的知識「**自分の生活から問題を見だし、課題を設定して実践につなげることで、学んだことの理解が深まる**」を基にした活動を促します。また、自他の考えを共有する場面を設定することで、課題解決の過程で必要な協力・協働を引き出し、幼児にとってよりよいおもちゃを目指して調整する機会を創出します。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年12月13日（金）13:00 ～ 16:05

